

情報提供依頼項目等

【情報提供事業者】

全8者

【情報提供依頼の項目】

- (1) 本市のMICE誘致力に対する評価
- (2) 本市におけるIRのイメージ
- (3) 本市におけるIRの経済的効果等
- (4) 本市におけるIRの事業性
- (5) 本市におけるIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組

(1) 本市のMICE誘致力に対する評価

■ MICEに関する本市の魅力・優位性

- ・幕張メッセの実績、認知度、施設の使いやすさ
- ・2大国際空港（成田・羽田）、東京からのアクセス性
- ・人口、経済規模の大きい首都圏に位置し、市場性を有すること
- ・周辺に観光資源を有すること 等

■ MICEに関する本市の課題

- ・幕張メッセの建物・設備の老朽化
- ・幕張メッセの利用料金の設定に柔軟性がない
- ・鉄道本数の少なさや高速道路の渋滞（幕張新都心）
- ・アフターコンベンション施設（ホテル、飲食施設、エンターテインメント施設等）の不足 等

■ 本市のMICE誘致能力の向上への寄与

全ての事業者が、IRがMICE誘致力を向上させ、IRの収益を活かし様々な課題の解決が可能との意見

(2) 本市におけるIRのイメージ

■ 全ての事業者が幕張新都心を立地場所に想定

（幕張メッセ駐車場、幕張メッセ、幕張海浜公園F・Gブロック中心）



■ コンセプト・イメージ

海辺空間を活用し、スポーツ、文化、エンターテインメント等を取り入れた都市型リゾートといったコンセプト等



(2) 本市におけるIRのイメージ

■ IR整備法第2条第1項に定める特定複合観光施設の機能や規模

用途	規模・概要
全体	<ul style="list-style-type: none"> 約70万㎡～150万㎡（延べ床面積）
MICE施設	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議場 最大の会議室の収容人数 約1,700人（現況程度）～1万人 展示場 約6万㎡～25万㎡
魅力増進施設	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統、文化、芸術等を生かした講演、食文化、芸術展示 等
送客施設	<ul style="list-style-type: none"> VRやARを用いて日本各地を案内する施設 旅行代理店等と連携したコンシェルジュ AIを活用した趣味趣向に応じた観光プランの提供 等
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> 客室数約1,500室～6,000室
その他施設	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設、テーマパーク、シアター、サーカス、アトラクション、ショッピングモール、ナイトクラブ、海辺施設 等

(3) 本市におけるIRの経済効果等

(4) 本市におけるIRの事業性

【IR区域全体 年間延べ訪問数】

・約2,000万人～4,000万人

【カジノ施設 年間延べ訪問者数】

・約500万人～3,000万人

【インバウンド割合】

・約1割～2割

【雇用創出】

・施設運営時の雇用

直接雇用：約1万人～5万人

間接雇用：約1万人～2.5万人

【建設投資額】

・約4,500億円～7,500億円

【全体売上】

・約4,500億円～6,500億円

【税収効果】

・認定都道府県等入場料納入金

約100億円～750億円

・認定都道府県等納付金

約500億円～700億円

(5) IRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組

- ・区域内のセンサーや警備員の配置等による徹底した安全対策
- ・ギャンブル等依存症対策や青少年への影響について、海外の事例や最先端技術を活用した早期発見や予測による対応
- ・反社会的勢力やマネー・ローンダリング対策を行政機関や国際機関と積極的に協力
- ・周辺への悪影響については行政、地域との積極的な連携を図り対応
- ・周辺交通への影響等を考慮し、公共交通機関の強化は不可欠
例) 鉄道の輸送力強化や船によるアクセス性の向上、バス輸送力の強化 等

全体総括

■ 事業者から提供された情報の要旨と本市の確認

(1)MICEの誘致力評価	(2)IRのイメージ	(3)IRの経済的効果等	(4)IRの事業性	(5)懸念事項と最小化方策
これまでの実績や利便性などが評価される一方で施設の老朽化や周辺の付帯施設の不足について言及	幕張新都心エリアで幕張メッセやスタジアム、幕張海浜公園を再整備する海辺型・都市型のリゾート案	国際的なMICEコンテンツを誘致する姿勢が示されるなど、国内でも有数の大施設による訪問者・雇用創出等について提示	幕張新都心でのIRを想定した建設投資額やIR全体の売上等について提示	法令等を踏まえた各種取組み案が示され、関係機関との連携についても言及

幕張新都心でのIRにより、MICE誘致力が向上する可能性があることを確認

経済効果や事業性については、委託業者による試算結果と比較し、著しい乖離はないことを確認

先端技術活用の可能性や関係機関への協力姿勢を確認

事業者から得られた情報では、幕張新都心エリアにおけるIRが十分成立し得ることが示されましたが、IRを誘致をするとした場合には、前提条件を整理した上で経済効果や事業性、懸念事項対策等について更なる精査が必要